

いちい場通信

NO.76 September, 2019

外国人のための法律・生活相談事業

沖縄弁護士会と「外国人のための法律・生活相談事業」連携に関する覚書を締結しました

当財団は、外国人の在留資格を問わず、行政上・法律上の手続きやサービスを楽しむことができるよう、去る4月から「外国人のための法律・生活相談事業」をスタートし財団内に相談窓口を設け、対応しています。地域住民として生活している外国人から寄せられる相談内容は、賃金や解雇などの労働問題や、ビザ・在留資格更新に関する事、また自宅購入に係る請負契約不履行など、高度な法制度の知識が必要とされる案件も少なくありません。

沖縄弁護士会と覚書を締結することにより、在住外国人の方々から寄せられる相談、とりわけ法律などの高度な知識が必要とされる問題の解決に向けて協働で取り組む体制を構築し、誰もが安心して暮らせる「多文化共生社会の推進」を目指して参ります。

法律知識が必要となる高度な相談に対して、財団と弁護士会が連携して対応することとなった他、今後外国人相談に関する定期的な勉強会を持ち、相談対応の向上も図ってまいります！



左：当財団與那嶺理事長 右：沖縄弁護士会赤嶺会長



公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団

Okinawa International Exchange & Human Resources Development Foundation

〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4-2-16

TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220 HP: <https://kokusai.oihf.or.jp>





行政視察を受け入れました

国際交流課では、岐阜県美濃加茂市議会文教民生常任委員会（写真）と東京都江戸川区議会文教委員会の皆様の行政視察を受け入れました。

行政視察では、多文化共生事業の一貫で実施している「災害時外国人支援体制事業」実施に至る経緯や取組状況、外国人に対する日本語教室の実施や医療通訳事業など、多文化共生事業の推進について、意見交換を行いました。



インターンシップ

韓国人留学生 イアヒョンさん

7月29日から8月2日の1週間、慶熙大学（韓国）のイアヒョンさんを国際交流課のインターンシップ生として受け入れました。短い期間ではありましたが、発信書類の翻訳や電話対応など、とても素晴らしい能力を発揮してくれました！当課でのインターンシップ経験に関する感想を本誌に寄せてくれました！

去年、京都で留学しました。日本には何度か旅行できたことがありましたが、初めての海外生活は様々な困難が伴いました。それは日本語ができるかどうか以前の問題でした。

当たり前のことです。私は文化や社会、何もかもが違う別世界に来たのですから。留学先の大学でサポートしてくれましたので私は無事留学をすませることができましたが、日本に来ている全ての外国人が私みたいな状況ではないはず。きっと日本語ができない外国人もいますし、大学みたいにするそばでサポートしてくれる所属がないかもしれません。そこで私は外国人をどのように支援するのが興味を持ちました。そして、ありがたく今回、財団でインターンシップする機会を得るようになりました。

インターンシップで私が主にしたのは翻訳でした。国際交流課で実施している日本語教室、外国人のための生活・法律相談、災害時外国人支援サポーターなど、外国人を対象とした活動の内容や申請書、実施要領などを翻訳しながら、財団が助けを求める外国人をどんな風に支援しているかを具体的に知ることができました。その中でも印象的だったのは「生活・法律相談」でした。外国人が日本で生活しながらビザや労働問題など直面する問題や悩みが生まれるはずでしょう。そんな人たちに自分の問題を相談できる窓口があるということは、見知らぬ他国に来た外国人にとって、とても助けになると思います。特に、司法上の問題は自分の国でも難しいことだし、専門的な知識も必要なので、周りの人々に頼ることもできません。法律相談はこのような日本で困っている外国人に実質的な助力になると思います。

県費留学生受入の仕事は面白い経験でした。私もまた、留学生の身分で沖縄に訪問している立場なので、「ウチナンチュ子弟等留学生」には親しみを感じました。そして、彼らの報告書を整理しながら、私が書いている報告書も誰かがこんな風に整理するだろうと思ったら、もっと頑張っておこうと考えました。

インターンシップで財団が沖縄にいる外国人のためにやっている活動についてもわかるようになりましたが、その他、このインターンシップは「外国人」としての私が日本社会についてわかるようになった学び舎でした。電話を受けたり、銀行に行ったり、資料を整理したりしながら留学生や観光客の身分ではわからない日本の会社の文化や仕事のやり方を知るようになりました。生まれて初めての会社の生活でしたが、細かいことまで優しく教えてください、間違っても励ましてくださったりしてくれて、頑張ってお所懸命できたと思います。

大学で日本語を専攻している立場として私は、今回、海外生活と海外就業について真剣に考えてみる機会となりました。外国で暮らしていくということは決して簡単な事ではないと思います。一人で日本に来て定着するまで、様々なことが起こるはず。そのため、国際交流課の役目がどれほど重要なのか深く感じました。そして、日本語ができる外国人としてもっと国際交流のために頑張りたいと思いました。

医療通訳ボランティア養成講座



外国人が医療機関にかかる際、「ことばの壁」や「制度の壁」を取り払い、安心して受診できるよう、当財団では定期的に医療通訳ボランティアを養成し、修了登録者を医療機関や市町村の検診会場に紹介派遣する事業を実施しています。

新たな人材を育成するために8月4日(日)から毎週土日、医療通訳ボランティア養成講座を全7回実施しました。今回は70名程の応募者の中から、選考を経て17人が受講しました。

講座では、市町村から依頼が多い「小児科検診」「母子検診」や「薬剤医療」、また、近年沖縄でも依頼件数が増加している「心療内科」に関する医療講義を取り入れ、それぞれの基礎的な知識を学びました。

また英語・中国語・韓国語・スペイン語各言語による語学講義では、厚生労働省が発行している「医療通訳に関する資料」を基に、通訳者としての行動規範や様々な状況でのロールプレイなどを行いました。

新たに17名の9期生が修了登録され、今後105名の医療通訳ボランティアが在住外国人と医療機関のパイプ役を担います。

医療講義にご協力いただきました皆様

医療機関名	役職	氏名	講演の内容
豊見城中央病院	小児科部長	奥間 稔	小児科医療の現場から -子ども救急ハンドブック概説-
琉球大学 医学部附属部病院	救急部特命准教授	玉城 佑一郎	輸入感染症-基礎知識-
あにも調剤薬局	薬剤師	阪本 崇彰	薬剤医療の現場から
山本クリニック	院長	山本 和儀	心療内科・精神科医療の現場から
沖縄県立中部病院	総合周産期 母子医療センター 産科婦人科専門医	中澤 毅	母子保健医療の現場から
沖縄県立中部病院	総合診療科部長	本村 和久	プライマリ医療の現場から



ウチナンチュ子弟等留学生受入事業

平和学習研修

6月23日の慰霊の日に平和学習研修を実施しました。午前中は平和祈念資料館を見学し沖縄全戦没者追悼式典に参列しました。留学生は戦没者に黙とうを捧げたあと、小学生の平和の詩「本当の幸せ」などを聞き、感慨深げな表情を浮かべていました。

午後は豊見城市で会場を借り、沖縄戦の語り部として活動している沖縄県観光ボランティアガイド友の会所属の吉嶺 全一さんの沖縄戦の話の話を聞きました。吉嶺さんは多くのスライドも用意されていて、戦前や戦後の写真をもとに自身の体験したエピソードを交えながら話してくださり留学生は皆、熱心に聞き入っていました。講話の最後には「戦争がなければ人は憎しみあったり、殺しあったりなどはしない。あなた達世代には世界の人と敵ではなく友人として出会ってほしい。」というメッセージを頂き改めて戦争と平和について考える良い機会となりました。



糸満平和祈念公園にて



吉嶺全一さんを囲んで



講話を聞く留学生達

歴史学習研修

去る8月9日に沖縄県立博物館・美術館にて「歴史学習研修」を行いました。講師には沖縄大学客員教授の新城 俊昭氏をお招きし、「琉球」と「沖縄」の呼称の違いは何か、沖縄の人々が歩んだ本土復帰までの道のり等を講和頂きました。

中国や台湾からの呼び名が「琉球」、ウチナンチュが自身を呼ぶ際に使用していた言葉が「沖縄」ということを学び、学生達は感心している様子でした。

講和後は博物館の常設展を見学し、先史時代から現代にかけての沖縄の歴史や文化、自然科学についての展示を観覧しました。自身のルーツである沖縄、歴史的に台湾や中国とも関わりの深い沖縄について学ぶ研修となりました。



新城俊昭先生による歴史講座



伊江島民泊研修



貴島さんグループ♪



山城さんグループ♪



大城さんグループ♪

9月2日～4日までの2泊3日の日程で伊江島観光協会が実施する「伊江島民泊」に参加し沖縄の自然や文化・生活を学ぶことを目的とする「伊江島民泊研修」を行いました。

民泊研修は3グループに分かれて行き、1日目は民家の方々に島内を案内してもらいながら、伊江島タッチューとして有名な「城山」に登ったり、島内にある資料館で戦争や島の歴史にまつわる資料や展示物を観覧したりと、それぞれ民家の方々と過ごしました。

2日目の午前のプログラムでは伊江ビーチで海洋研修を行いました。伊江ビーチにある貝やサンゴなどを使用してフォトフレームを作成しました。それぞれ個性のあるフレームを作っていました。その後は、伊江島の海でドラゴンボートに挑戦し、伊江島の自然を体感しました。午後は受け入れ先の民家で沖縄料理やぶくぶく茶、魚を養殖している民家では魚への餌やり作業等、大学や研修先での留学生活の中では普段行わない作業を体験していました。最終日には、民家の方に伊江ビーチで作ったフォトフレームに手紙を入れて、感謝のお礼として渡しているグループもあり、2泊3日の短い民泊体験ではありましたが、民家の方々と家族のような関係を築けた様子が伺えました。受け入れ民家の皆さま、貴重な機会をありがとうございました。



♪伊江ビーチにて♪



ドラゴンボート!



☆琉球茶道体験☆



☆沖縄料理体験☆



3日間ありがとうございました〜😊

☆養殖の餌やり体験☆

The Second English and Cross-culture Seminar

去る8月3日（土）に沖縄科学技術大学院大学（OIST）でEnglish and Cross-culture Seminarを開催しました。本セミナーは、高校生から大学生を対象に、日本語や英語によるコミュニケーションスキルや発信力を高めることを目的としたセミナーで、8名が参加しました。

午前中のセッションでは環境問題を取り上げ、OIST研究者やスタッフと異常気象に対して一人ひとりができる対応策を考え、英語でプレゼンテーションを行いました。引き続き、OIST研究者やスタッフと施設内を英語で巡り、カフェテリアでランチを取りました。

午後のセッションでは、日本語によりSDGs（持続可能な開発目標）について考える機会を持ち、17項目あるSDGsはそれぞれ密接に関わっていることや、その中で個々人で達成できる目標等について討論しました。

次回の実施は12月7日（土）です。10月初旬からHP内で参加者を募集します。多くの皆様のご応募をお待ちしています。



外国語絵本読み聞かせ教室

♪ 上半期は下記の日程で全3回外国語絵本読み聞かせ教室を行いました♪

7月28日（日）北谷町立図書館
読み聞かせ言語：中国語

第1回目の外国語絵本読み聞かせ教室は中国出身の張夢雅さんを講師にお招きし、日本でも人気のある「はらぺこあおむし」と「てぶくろ」というウクライナの民話を中国語で読んで頂きました。絵本の読み聞かせ以外にも中国語の挨拶を習う時間もあり、来ていた子供たちだけでなく、保護者の方々も一緒に楽しい時間をすごしました。



8月4日（日）西原町立図書館
読み聞かせ言語：英語

西原町立図書館では、アメリカでは誰もが知っている有名な絵本作家、ドクター・スースの絵本「キャットインザハット」を国連職員として世界各地で働いた経験を持つ喜屋武奈央子さんに英語で読み聞かせを行って頂きました。少し長い絵本でしたが参加した小さな子様達も熱心に聞き入っていました。



8月18日（日）沖縄市立図書館
読み聞かせ言語：スペイン語

ペルー出身のランジ・マベル・親川さんを講師に招いた上半期最後の読み聞かせは2冊の絵本をスペイン語で読んで頂きました。読み聞かせの前にはペルーについての国紹介のスライドを使ってミニクイズなども行って頂きました。子供たちは元気よく手をあげてクイズに答えていました。国紹介のビデオも用意されていて「ペルーに行きたくなった」という声も多く聞かれました。読み聞かせの終わりには、「チャオ」と挨拶をして帰る子供達の姿が印象的でした。



外国語絵本読み聞かせ教室 参加者募集!

外国語による絵本の読み聞かせを通して各国の言葉や文化に親しむとともに交流の場を提供します!

★対象★ 県内在住外国人及び県民の親子

★内容★ 英語・中国語・スペイン語などの幼児から児童向け絵本の読み聞かせをします。読み聞かせ以外にも、講師の方の国についての紹介や、ちょっとしたゲームを考えますので、親子でお楽しみいただける内容となっています。

★申込方法★ オンライン申請にて受付しています。[http://kokusai.oihf.or.jp/]

☆☆☆開催スケジュール☆☆☆

沖縄市立図書館 10月27日（日） 11:00～12:00	沖縄市立図書館 11月10日（日） 11:00～12:00	北谷町立図書館 11月24日（日） 11:00～12:00	北谷町立図書館 12月1日（日） 11:00～12:00
-------------------------------------	-------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

ご参加お待ちしております!

★お問い合わせ★ 公益財団法人 沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
〒901-2221 沖縄県豊原市伊佐4-2-16
TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220 E-mail: kokusai2@oihf.or.jp
URL: http://kokusai.oihf.or.jp/ Facebook: http://www.facebook.com/oihf60

下半期は4回の読み聞かせ教室の開催を予定しております。皆様のご参加お待ちしております!!

2019年度下半期 外国語絵本読み聞かせ教室 開催日程

回数	時間	会場
第4回	10月27日（日） 11:00～12:00	沖縄市立図書館
第5回	11月10日（日） 11:00～12:00	沖縄市立図書館
第6回	11月24日（日） 11:00～12:00	北谷町立図書館
第7回	12月1日（日） 11:00～12:00	北谷町立図書館

♪ オンライン申請にて受付中! 詳しくは財団HPまで♪



財団主催イベント情報①

—多くの皆様のご参加をお待ちしています—

災害時外国人支援サポーター養成講座@宮古島 受講者募集

目的
災害時に要配慮者となりがちな外国人を支援するため、大規模災害時に財団が立ち上げる「多言語支援センター」と協働で、避難所巡回や情報収集等を担えるサポーターを育成します。

定員
30名：応募者多数の場合、受講できないことがあります。

募集対象者
外国人支援や「防災・減災」に興味がある方ならどなたでも！
語学力は不要です（参加無料）

講座修了認定
全講座受講者を「災害時外国人支援サポーター」として認定します。

募集期間等
2019年9月1日（日）～10月20日（日）
講座の内容や応募方法等詳細はHPで！

主催：（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
TEL: 098-942-9215 HP: <https://kokusai.oihf.or.jp> FB: <http://www.facebook.com/oihf60>
共催：宮古島市 協力：（一社）宮古島観光協会



ダイバーシティシンポジウムin沖縄

趣旨
去る4月に「改正出入国管理法」が施行され、日本政府は外国人の受け入れ及び共生に関する様々な施策を推進しているところですが、在留外国人に対する教育・福祉・労働面等の新たな政策の導入に戸惑っている自治体や企業などの関係機関は少なくありません。今後、増えゆく在留外国人との共生に向けて、我々は、どのように様々な取り組みを推進することができるのか、また今後発生することが予想される課題等への対応策についてシンポジウムを通して考えます。

参加対象者
自治体職員・弁護士
企業・学校職員
興味・関心がある方

実施日時・場所
10月30日（水）13:00～16:00
沖縄産業支援センター内 中ホール

基調講演 田村 太郎 氏
（一財）ダイバーシティ研究所代表理事
明治大学大学院兼任講師/復興庁復興推進委員

参加申し込み方法
参加希望者は財団HP (<https://kokusai.oihf.or.jp>)内のオンラインフォームからお申し込み下さい。

お問い合わせ：（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
TEL: 098-942-9215 HP: <https://kokusai.oihf.or.jp>



災害時外国人支援サポーター養成講座
島嶼県沖縄の地域防災力を高め、大規模災害時に財団が開設する「多言語支援センター」と協力して、外国人の支援を担うことができる人材の育成を行います。全3回受講された方は、当財団の「災害時外国人支援サポーター」に認定します。すでに県内では150名近くの方が修了登録しており、今回初めて宮古島で開催します！

日程：【第1回】11月12日（火）13:00～17:00
【第2回】11月13日（水）09:30～17:00
【第3回】11月14日（木）09:00～13:00

場所：働く女性の家（ゆいみなあ）

語学力は問いません。どなたでもご応募下さい！

ダイバーシティシンポジウムin沖縄
在留外国人の増加は全国的な傾向でもあり、去る4月に「改正出入国管理法」が施行され、日本政府は教育や福祉、労働面など、外国人の受け入れ及び共生に向けた環境整備を推進しています。その一方で新たな政策の導入に戸惑っている自治体や関係機関は少なくありません。外国人との共生に向けて、今後を考えるシンポジウムを開催します。

日時：10月30日（水）13:00～16:00
場所：沖縄産業支援センター

外国人との共生について、身近なこととして考えてみませんか！

災害時避難所体験会
「避難訓練」はよく行われますが、実際の避難所がどのようなものなのか体験できる機会を提供します。体験会では、非常食の炊き出し訓練や段ボールベッドの設置など実際に参加することができます。体の不自由な方やお年寄り、またお子さまやペットとの同伴など、どなたでもご参加いただけます！避難所を事前に体験することで災害時に役立ちます。

日時：11月5日（火）津波防災の日 9:30～13:00
場所：沖縄市農民研修センター

当日は会場入り自由です！非常食もぜひ試食してみてください！

非常食 無料配給 共催：沖縄市

災害時避難所体験会
Experience the "Disaster Evacuation Shelter"

日時 津波防災の日 11月5日（火）9:30～13:00

場所 沖縄市農民研修センター（沖縄市豊川2380）

内容
災害時の避難所を体験して下さい！非常食の試食・ダンボールベッドの設置・お役立ち講座も実施します！

お年寄りやお子さま、ペット同伴など、どなたでもご参加いただけます！

避難所では様々な問題が外国人の対応は？
●ペットはどうする？
●食糧物は？
●トイレは？ etc..

申し込み不要
実施時間内は、自由に会場を出入りできます

主催：（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課 共催：大見剛
TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220 Email: kokusai@oihf.or.jp
HP: <https://kokusai.oihf.or.jp> Facebook: www.facebook.com/oihf60



財団主催イベント情報②

—多くの皆様のご参加をお待ちしています—

外国人による日本語弁論大会
第37回
弁士募集
Call for Speakers
Japanese Speech Contest for Foreigners

目的
在留外国人に、国際交流・国際親善・相互理解・日本や沖縄の文化について日本語で発表する機会を提供し、異文化理解と共生の精神及び国際社会のあり方をともに考え、相互友好の一助とします。今回も、多くの豪華賞品を準備しています。たくさんのご応募、お待ちしております！

応募締切
2020年1月9日（木）17時必着
弁士募集は、11月1日（金）から！

参加資格
1. 県内に在住する外国人で母語が日本語以外の方
2. 大会開催当日の年齢が15歳以上の方
3. 過去の本大会で最優秀賞を受賞していない方
4. 趣旨に沿った内容で演題は自由。（ただし、伝道や宣伝は不可）
5. 他の大会で未発表の作品に限る

本大会
ファイナリストに選ばれた方は、下記日程の本大会に参加することができます。
日時：2020年2月9日（日）13:00～
場所：浦添市でだこホール 大ホール（浦添市仲間1丁目9-3）

お問い合わせ・応募書類提出先（応募書類は、当財団HPでご確認下さい）
（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 国際交流課
〒901-2221 沖縄県宜野湾市伊佐4丁目2番16号
TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220 HP: <https://kokusai.oihf.or.jp>

島嶼県沖縄の地域防災力を高めよう！
2019年度 災害危機管理シンポジウム

沖縄 震度7

沿岸部津波で壊滅

もしもの時、あなたは どうしますか？

開催趣旨
本県では、1万6,000人以上の外国人が暮らしています。その出身国は120カ国にも上り、それぞれの持つ習慣・文化の垣を越えて、地域社会は必然的に多様化を遂げる傾向にあります。加えて沖縄を去る外国人観光客数は、年間200万人を超えました。このような状況の中、もし沖縄県で大規模な災害が発生した場合、我々はどう乗り切れるのか。空港や港が使えない、容易に他県からの応援が得られないとすると、どうすることが起こるのか。本シンポジウムは、基調講演とパネルディスカッションをとおして、地域が抱える災害危機管理上の課題を掘り下げ、それぞれの立場で対応策について考える機会を持つことを目的に実施します。

日時：2020年1月14日（火）13:00～16:30（受付12:30～）
場所：沖縄産業支援センター 中ホール
基調講演 福和 伸夫 氏
名古屋大学大学院環境学研究科教授
名古屋大学減災連携研究センターセンター長
●基調講演の他、有識者によるパネルディスカッションを行います。

主催：（公財）沖縄県国際交流・人材育成財団 TEL: 098-942-9215 FAX: 098-942-9220
11月1日から参加者の募集を開始します。財団HP (<https://kokusai.oihf.or.jp>) でご確認ください

外国人による日本語弁論大会弁士募集！
今回で37回目となる日本語弁論大会の発表者を募集します。今回も多くの豪華賞品を準備しています。多くの外国人の皆様のご応募をお待ちしています！

募集期間：11月1日（金）～1月9日（木）17時必着

応募方法：財団HP内のオンラインフォームから！

第37回外国人による日本語弁論大会について
本イベントは昭和58年度から毎年開催され、県内在住の外国の方々や沖縄での生活を通じ、国際交流や文化間の相違など様々なテーマについて、外国人ならではのユニークな経験や視点から日本語でスピーチします。観覧は無料です！当日は弁士の皆さんが一生懸命弁論します。

実施日時：2020年2月9日（日）13:00～

実施場所：浦添市でだこホール（浦添市仲間1-9-3）

多くの皆様のご来場とご声援をよろしくお願いいたします！

島嶼県沖縄の地域防災力を高めよう！
2019年度災害危機管理シンポジウム
地震や津波のみならず近年台風や水害など、日本各地で多くの災害に見舞われています。そのような中、日頃から地域の防災力を高め災害に備えることはとても大切なことです。その目的に寄与するべく、今回で3回目になるシンポジウムを開催します。シンポジウムでは、昨年度もご登壇いただきました名古屋大学減災連携研究センターの福和氏による基調講演が行われる他、2018年9月に発災した北海道胆振東部地震の際、車の電力を活用して停電をしのぎ、コンビニを営業し続け被災直後の道民の生活を支えたセイコーマート（株式会社セコマ）にもパネルディスカッションに加わっていただきます。

日時：2020年1月14日（火）13:00～
場所：沖縄産業支援センター中ホール
参加方法：11月1日（金）からHPで募集開始

パネルディスカッションのパネラーも多彩！防災・減災に向けて多くのヒントが！



沖縄県内国際交流団体 イベント情報



【おきなわ国際協力・交流フェスティバル2019】

JICA沖縄では、「おきなわ国際協力・交流フェスティバル2019」を開催します！

SDGsや国際協力・交流に取り組む団体の活動紹介や国際色豊かなイベント、研修員との交流、多国籍料理もありますので、ぜひご来場ください。

日時：2019年11月2日(土)、3日(日) 10:00～

お問い合わせ：JICA沖縄センター 098-876-6000
(浦添市前田1143-1)



【2019年韓国人戦没犠牲者慰霊大祭】

太平洋戦争中に韓半島から沖縄に徴兵、徴用され、現地で亡くなった約1万人の犠牲者を偲ぶ「韓国人戦没犠牲者慰霊大祭」が、毎年、糸満市摩文仁の平和記念公園の一角に建つ「韓国人慰霊之塔」前で行われます。

日時：令和元年10月26日(土) 14:00～

場所：糸満市摩文仁 韓国人慰霊塔公園

【2019年コリアンフェスティバル】



韓国から招聘した楽団によるサムルノリを披露するほか、チマチョゴリ無料試着会、チヂミやトッポッキといった韓国の代表的な軽食の販売など、盛り沢山の内容で、参加自由となっています。多くの県民が韓国文化に親しめるイベントです。

日時：令和元年11月17日(日) 10:00～

場所：牧志公園

お問い合わせ：在日本大韓国民団 沖縄県地方本部 098-863-3166
沖縄県日韓親善協会 098-866-3179



【NPO法人日本スリランカ次世代育成サポート設立記念イベント】

「なぜ学校が必要か(仮)」をテーマに、基調講演(ディレップ・チャンドラール沖縄大学名誉教授/NPO法人日本スリランカ次世代育成サポート理事長)、パネルディスカッションを実施、学校づくりを支える人たちの運営理念、国際教育協力の可能性をアピールする記念イベントを計画しています。

日時：2019年11月10日 開場13:30分 開演14:00分

場所：沖縄大学 本館102号室

お問い合わせ：NPO法人日本スリランカ次世代育成サポート事務局
担当/儀間真貴子 080-9851-7718



【書きそんじハガキ・キャンペーン2020】2019年12月～2020年2月末日まで

書きそんじハガキを集めています。郵便局が発行しているハガキで、文字を間違えたり、印刷の失敗や余ってしまった等ポストに投函できなかったハガキをご寄付ください。

この活動は、世界寺子屋運動の一環です。貧困や紛争等で、教育を受けられない子どもたち、や教育を受ける機会がなくそのまま大人になり、読み、書きができない人のために、識字や学びの場を支援する活動です。

去年は、8,227枚集まりました。ありがとうございました。

カンボジアでは、女性達が
手に職をつけて販売が
出来るようになりました。



【つくり手】カンボジア・チョンクニア村の女性たち



【素材】カンボジアのトンレサップ湖に自生するウォーターヒヤシンス(ホテイアオイ)



お問い合わせ：沖縄県ユネスコ協会098-866-2745
(沖縄県教育庁生涯学習振興課内)



【中国人民共和国成立70周年、中日平和条約締結41周年祝賀会】

2019年は中華人民共和国成立70周年、及び中日平和友好条約締結41周年です。2019年10月7日に祝賀会をロワジールホテル那覇(手妃の間)にて開催する。

当イベントは中華人民共和国駐福岡総領事館何振良総領事をお迎えし、沖縄県庁代表、那覇市代表、在沖縄中資企業代表、華僑企業家代表、沖縄企業家代表、中国留学生代表に呼ぶかけ、日中友好の振興とともに沖縄を盛り上げるきっかけづくり目的としています。

日時：10月7日

場所：ロワジールホテル那覇 会費：5000円/人

お問い合わせ：一般社団法人沖縄新華僑華人総会 098-963-9078

参加無料



財団主催日本語教室

日本語の読み・書きの学習

日常生活に必要な日本語の学習

2019年4月～2020年3月
毎週金曜日(週1回)
19:00～21:00

お申し込みは財団HP見学予約フォームへ♪



ボランティア 募集中



皆様の支援に感謝！ 一賛助会員募集一

公益財団法人沖縄県国際交流・人材育成財団（略称「OIHF」）は、本県の多文化共生社会の推進に寄与し、振興発展を担う人材育成事業や、国際性豊かな活力ある沖縄づくりを目指し、国際交流・協力事業を推進しております。当財団の趣旨や活動に賛同し、活動を支援して下さる、賛助会員を募集しています。沖縄県国際交流・人材育成財団の事業は会員の皆様の支援によって支えられています。皆様のご協力をお願いいたします。

【年会費】 個人：3,000円 団体：10,000円

★お申し込み・お問い合わせは国際交流課まで★ TEL:098-942-9215 FAX:098-942-9220

法人賛助会員の皆様のロゴを掲載いたします！



その他法人賛助会員様： 沖縄ハワイ協会 沖縄ツーリスト 沖縄県商工会連合会
株式会社日本旅行 パシフィックホテル沖縄